

令和 7 年 11 月 27 日

## 二宮町教育委員会議録

( 定例会・臨時会 )

二宮町教育委員会

1 開会時間 9時 30分

2 閉会時間 11時 13分

3 教育長名 和田 智司

4 署名委員 杉本 かおり

5 教育長及び委員

出欠席	職名	氏名
○	教育長	和田 智司
○	教育委員 教育長職務代理者	杉本 かおり
○	教育委員	古正 栄司
○	教育委員	三好 祐太
○	教育委員	藤原 直彦

6 出席者氏名 教育部長 松本 幸生  
教育総務課長 田嶋 卓司  
教育指導課長 倉重 成歩  
教育指導課課長代理 高谷 松慶  
生涯学習課長 山下 昌志  
教育指導課指導班長 加藤 昭浩  
教育総務課教育総務班長 高橋 篤史  
教育総務課教育総務班主事 川名 義紀

7 傍聴者 1名

8 調製者 教育総務課教育総務班主事 川名 義紀

## 1 開会宣言

(教育長) 令和7年11月定例教育委員会議を開催します。

## 2 署名委員の氏名

杉本委員を指名する。

## 3 教育長事務報告

(教育長) 教育長事務報告を資料に基づいて行う。

(教育部長) 11月政策会議結果報告を資料に基づいて行う。

(各課長・指導主事) 各課の事務報告・事業予定・研修内容について資料に基づいて説明する。

(古正委員) 教育長事務報告のにのみや学園制服のあり方検討会について、せっかく制服がリニューアルするので、町の職員が着ているようなポロシャツを導入しても良いと思う。体操服やブラウス、ワイシャツでもなく、ポロシャツであればカジュアルでありながら、ちょっとした場所にもきちんと対応できるので良いと思う。

(藤原委員) 制服のあり方検討会について、今後、小中一貫をすすめる際の合意形成の仕方を考えていく際に参考になると思う。どのタイミングでどんな委員会を開催し、そこで何を決めて、どのタイミングで保護者が入ってくるかなど、合意形成のプロセスをまとめさせていただけたとありがたい。今回は、大きな手戻りがなく、合意をうまく形成できた事例になると思うので、それを活かした進め方をできれば良いと思う。次に、教育委員会としては、点検評価でKPIのような数値目標を設け、達成状況によって次の策を考える運用をしている。そこで、総合防災訓練やふるさとまつりはどのような目標設定をしているのか。ふるさとまつりは参加人数のようなものが該当するのではと思う。町民が触れ合うことで交流が生まれる、それを数字化すると人数になるという考え方には納得感がある。しかし、実際に人数がいたからその目的が達成されたかと言うと、イコールではないときもあると思う。そのあたりをどのように考えているかを知りたい。この質問の意図としては、我々は評価報告を出しているが、それに対する意見が聞こえてこないので、他の部署の施策がどのように運用されているのかを参考にしたいからである。

(教育部長) 防災訓練については、町の行政評価の中で参加は何人としているかもしれない。そもそも1つ1つの事業にそれぞれKPIつけている訳ではなく、総合計画の行政評価として、町の防災という大きなテーマで、参加者や機材の整備状況など様々な部分のKPIがあり、その中の1つが防災訓練になる。防災訓練については、毎年ポイントにする内容を変えている。そのため継続的に同じ指標を持って比較することは難しい。時代に合わせて、課題になっていることを訓練に取り入れている。ふるさとまつりのKPIは聞いたことがない。1つのイベントとして町の活性化が基本にあると思う。そこに、商工会や農業事業者など、様々な人達がそこに集うことに意義を持っていると思う。

（藤原委員） こういったイベントは、終了後に組織長からの労いの言葉があり、また次回も頑張ろう、となってしまうことが多い。そのため、KPIのようなものがあると、出来たこと出来なかつたことの振り返りのきっかけになり、次回どのような対策を打つかという検討につながると思う。

（教育部長） 防災訓練については、終了後に必ず職員アンケートを取り、気づいたところを集めて、今後へ生かしている。

（藤原委員） 防災訓練については、訓練の際に上手くいかなかつたことが多々出てくる。その改善策を災害が実際に発生するより前に打てることが、防災訓練の意義だと思う。一方で、評価報告は徐々に良くしていくものであり、同じ運用では語りににくい事業だと認識した。

（教育部長） 制服の検討会については、会議資料が全て残っているので、今後にも活用できればと思う。今回は今までにないくらい子ども達からアンケートをとるなど丁寧なやり方をしている。

（藤原委員） 経過を見ていた中で、委員へ確認するタイミングも適切だったと思う。報告書として分量をまとめるのではなく、時系列がわかるような年表のようなものだけ作成いただけると良いと思う。

#### 4 付議事項

##### （1）議案第 12 号 学校教育法施行細則の一部を改正する細則について

（教育総務課長） 学校教育法施行細則の一部を改正する細則について資料に基づいて説明

（藤原委員） 性別欄が無くなっているが、クラス配置をするときに男女比率が偏ってしまうことなどはないか。

（教育総務課長） あくまで入学通知書のため、それを元にクラス分けをしている訳ではない。他の書類で男女がわかるようになっている。

（教育長） 委員に議案第 12 号について諮る。

委員全員賛成により、議案第 12 号は承認される。

##### （2）議案第 13 号 令和 7 年度二宮町教育委員会表彰被表彰者の選考について

（教育総務課長） 令和 7 年度二宮町教育委員会表彰被表彰者の選考について資料に基づいて説明

- 非公開 -

##### （3）議案第 14 号 令和 7 年度二宮町一般会計補正予算（第 5 号補正）（案）について

(教育総務課長) 令和7年度二宮町一般会計補正予算（第5号補正）（案）について資料に基づいて説明

- 非公開 -

## 5 報告・協議事項

### （1）令和8年度予算について

(教育部長、教育総務課長、教育指導課長、生涯学習課長) 令和8年度予算について資料に基づいて説明。

- 非公開 -

### （2）その他

#### 小中の交流会について

(藤原委員) 三好委員と一緒に二宮中学校に見学をさせてもらったが、昨年の反省を踏まえて、迅速に変更できるのはすごく良いことだと思う。実際にしていくことが定着してきていることは良いことなので、次は内容について考えるタイミングになってきたと思う。児童達が真剣に話を聞いていて驚いたが、客観的に見たときに全員がプレゼンに興味を持って聞けていたかと言うと、去年の方が興味を持てるコンテンツだったと思う。中学校の先生は中学生にとって良い体験を考え、小学校の先生は小学生にとって良い体験を考える。しかし、あの場には中学生と小学生がいたので、どのような内容であればそれぞれの子ども達にとって良い体験になったのかをそれぞれの先生同士が議論できれば、そういう場が作れる気がする。だんだん定着してきてはいるので、より中身が深まり、今まで以上の取り組みになっていくと良いと思う。

(古正委員) 藤原委員の意見に同感で、例えばワーキンググループでの話題にすると、あえて場を設定しなくても協議できると思う。自分が現役の頃、落ち着かない5年生のクラスの担任をしたことがあった。その際に落ち着いた6年生の授業をその5年生が見ると6年生のすごさを実感できる。それも2、3回見に行くと、話し合いの進め方や先生の話を聞くときの姿勢について知ることができる。授業時間を2、3時間費やしてしまうが、その先の1年半や2年間にものすごく影響を与える。もしかすると、その後の成長にもすごく影響すると思う。だからこそ、町が進めている施設一体型の小中一貫教育校により日常的にその姿を目にすることができることは、とても意味があるものだと思っている。ぜひこれからも、小学生が中学生の授業を見に行くといった、小中学校の交流会をさらに進めていただけたとありがたい。

(指導班長) 特別支援学級交流会については、ワーキンググループを生かして当日のプログラムを考えている。それが小中学校の交流会についても当てはめられると良いと思

うので、整理をしつつ学校間を取り持つていきたいと思う。

#### **給食費無償化について**

(古正委員) 国では、令和8年4月から全国の公立小学校の給食費無償化を検討しているようだが、二宮町ではどんな情報を持っていて、どんな取り組みをされているのか。

(教育総務課長) 現在の二宮町の取り組みとしては、中学校の給食費の完全無償化と小学校の物価高騰分の補助を行っている。給食費の無償化については、国から詳細な情報がきていない。ただ、一方で物価高騰を踏まえて給食費の値上げも含めて考えている。

#### **— 次回教育委員会予定 —**

(教育総務班長) 次回教育委員会議の日程及び出席を要する主な行事について説明。

11時13分 閉会